

住居リフォーム（その 5：玄関編）

5. 玄関

玄関はお客さんが来た時に最初に目に触れることから、住居の顔といえる部分です。この部分のリフォームは住居のイメージを変えるのに非常に効果があります。玄関部分のリフォームとして、壁紙の張替等がありますが、本号では余り費用をかけないでイメージを変えることができる土間の仕上げ変更と下駄箱の化粧シート貼りについて紹介します。

(1) 玄関の土間仕上げの変更

玄関の土間部分は土足で使用する部分ですから、土足に対する耐久性と、雨水で濡れた時に滑りにくい表面仕上げを条件に材料を選びます。東りの「メルストーン」(45cm×45cm、830円/枚(「ジョイフル本田」調べ))という石目調のプラスチックタイルの中の表面が凹凸仕上げされたものが条件を満たします。この厚さは2mmですので、既存の赤レンガ調のPタイルの上に重ね張りしても玄関扉枠の高さ以下に納まります。図1の例ではカットをうまく処理することで8枚使用しました。階によって土間の形状が異なりますので、必ず実測して使用枚数を割り出してください。

(上記に類する材料以外をご検討の場合、管理組合にご相談ください)



図1 玄関の土間部分の仕上げ変更

【作業手順】

材料、道具として、上記のタイルに加えて、接着剤(ゴム系ラテックス形接着剤 CL-7N、セメダイン(株)、1kg 入り参考価格 580 円)、接着剤を均等に塗るための櫛目付き金コテ(30 円参考)、金尺、カッター、両面接着テープ、はさみを用意します。

- ① 壁のソフト幅木を剥がします。このソフト幅木は再利用するため、洗浄して乾燥させます。
- ② 既存の土間面を雑巾などでふき掃除して完全に乾かします。
- ③ メルストーンを土間のサイズに合わせて加工しながら仮置きします。なお、廊下側の木部は

乾燥により曲がりが生じている場合があります、これに対してはカッターで根気よくメルストーンの角を削りながら隙間がないように加工します。メルストーンがすべてぴったりと加工できたら、並べる順番を間違えないように他の場所へ移動します。

- ④ 既存のPタイルの上に接着剤を塗布します。ヘラで接着剤を均一に延ばし、塗り過ぎないようにしてください。塗り過ぎると後でPタイルの隙間からはみ出して汚れとなります。
- ⑤ メルストーンを所定の場所に貼りこんでいきます。
- ⑥ 全て貼りこんだらタイルの上を歩き回り、浮きなどがないようにします。作業説明書には「最後にローラーかけを行う」と記載されていますが、歩き回ることです大丈夫です。
- ⑦ ソフト幅木の裏面に両面接着テープを貼り付け、壁の下部に貼り付けて完成です。

(2) 下駄箱のリフォーム

下駄箱は広い面積を占めることからその表面仕上を変えるだけで玄関の雰囲気が変わります。キッチンでも使いましたが、接着剤付塩化ビニールシート（45cm幅×2mで参考価格 780 円/本）が使えます。表面だけならば、3本で図2のようになります。作業手順はキッチンの項で紹介したものを参考としてください。化粧シートは様々な色、デザインから選ぶことができますが、住居全体のバランスに配慮して選びます。

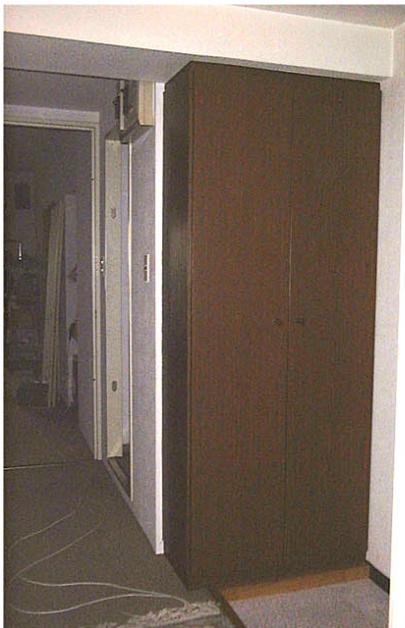


図2 下駄箱のリフォーム



図3 玄関の鏡

(3) 玄関の鏡、飾り棚

外出直前の身だしなみの確認に、玄関に鏡があると便利です。鏡の大きさは姿を映す人の身長と幅の半分以上の寸法となりますので、90cm×30cm位のサイズあれば使えます。図3の例では壁面に額縁用の吊り金具を取り付けて掛けています。

例では鏡の下に花瓶などが置けるように棚が取り付けられているのが見えます。人の動線に支障をきたさないように壁面の隅に収まるように、また、角の部分は丸く処理されています。なお、居室により寸法が異なることから、このようなレイアウトができない場合もあります。